

ついて、推薦文の一部を修正した上で常任理事会で受理することとした。

6. 2004年度事業計画（案）について

次回の常任理事会までに、加筆、修正事項を報告することとした。

7. 2004年度予算検討資料について

2002年度決算、2003年度実績内容を踏まえて、2004年度の予算案が示された。各担当から2004年度の事業計画内容に合わせて予算案の修正があれば次回の常任理事会までに報告を行うこととした。

8. 第33期役員選挙について

第33期役員選挙管理委員会作業進捗状況の報告。立候補の受付は13日に締め切られた。選挙管理委員会から2月17日までに投票用紙が各会員あてに郵送

される。投票の締め切りは3月15日。

9. 第32期第2回評議員会の議題について

第2回評議員会を2004年3月15日（月）に開催する。各評議員からの指摘事項への回答案が各担当理事から示された。取りまとめた資料を、1月26日に各評議委員に開催案内とともに送付予定。

10. 学会運営に関する諸問題（継続）について

春季・秋季大会の運営費用の問題について、引き続き議論を行う。今年度中に具体案を作成し、春の総会で会員の意見を聞く。

11. 地球物理学関連学会の連携に関する検討WGメンバーの推薦について

近藤理事を推薦したいとの提案に対し、常任理事会全員一致で了承した。

2004年度の総会成立に向けてのお願い

常任理事会

春季大会第2日目（5月17日（月））に予定されている2004年度総会の成立条件は通常会員の過半数（定款第38条）となっており、例年、その成立が極めて厳しい状況が続いています。ここに、改めてご関心をお寄せいただき、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

本年は総会参加票の投票期間が特に短く、更に厳しい状況にあります。総会資料および総会参加票（はがき）は「天気」4月号に掲載しますが、これを4月24日（土）頃には会員各位にお届けできるように務めます。

「天気」4月号の総会資料を読んでいただき、総会参加票による意思表示を全ての通常会員が必ず行うようお願い致します。
